平成24年9月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成24年5月11日

上場会社名　株式会社 ティア　　上場取引所　名
コード番号　2485　URL　http://www.tear.co.jp
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 冨安　徳久
問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長　(氏名) 山本　克己　TEL 052-918-8254

四半期報告書提出予定日　平成24年5月14日
配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　有
四半期決算説明会開催の有無　：　有　(アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年9月期第2四半期の業績(平成23年10月1日～平成24年3月31日)

(1) 経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年9月期第2四半期	4,349	6.4	622	47.6	587	52.5	331	69.4
23年9月期第2四半期	4,089	4.0	421	△17.6	385	△19.4	195	△30.2

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年9月期第2四半期	145.36	―
23年9月期第2四半期	85.79	―

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年9月期第2四半期	7,882	2,348	29.8
23年9月期	7,298	2,085	28.6

(参考) 自己資本　24年9月期第2四半期　2,348百万円　23年9月期　2,085百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年9月期	―	0.00	―	30.00	30.00
24年9月期	―	0.00			
24年9月期(予想)			―	30.00	30.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成24年9月期の業績予想(平成23年10月1日～平成24年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,580	9.6	865	17.6	790	19.4	440	24.2	193.15

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

4. その他

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年9月期2Q	2,278,000 株	23年9月期	2,278,000 株
② 期末自己株式数	24年9月期2Q	112 株	23年9月期	41 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年9月期2Q	2,277,932 株	23年9月期2Q	2,277,959 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続きの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続きは終了しておりません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確実な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）経営成績に関する定性的情報 …… 2
（２）財政状態に関する定性的情報 …… 2
（３）業績予想に関する定性的情報 …… 3
２．サマリー情報（その他）に関する事項 …… 3
（１）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 3
（２）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 3
３．継続企業の前提に関する重要事象等の概要 …… 3
４．四半期財務諸表 …… 4
（１）四半期貸借対照表 …… 4
（２）四半期損益計算書 …… 6
第２四半期累計期間 …… 6
（３）四半期キャッシュ・フロー計算書 …… 7
（４）継続企業の前提に関する注記 …… 8
（５）セグメント情報等 …… 8
（６）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 …… 8
（７）重要な後発事象 …… 8

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する定性的情報

当第２四半期累計期間におけるわが国経済は、堅調に推移する個人消費や復興需要に伴う設備投資の増加等を背景に、緩やかながら持ち直しの動きが見られました。一方で、欧州債務問題や高止まりする原油価格、電力供給不安等を背景に輸出や生産活動が停滞する可能性をはらんでおり、先行きに対する不透明感は拭えない状況です。

葬儀業界におきましては、葬儀に関する潜在的需要は約30年間にわたり年々逓増すると推計されております。また、映画「エンディングノート」のロングラン上映や2011年８月に経済産業省より公表された「安心と信頼のある『ライフエンディング・ステージ』の創出に向けて」等もあり、業界に対する社会的な注目はより一層、高まるものと予想されます。業界全体の状況につきましては、人口動態等を背景に売上高、葬儀件数は増加傾向で推移しているものの、葬儀単価におきましては核家族化や葬祭規模の縮小等により減少傾向が続いております。

かかる環境下、当社は顧客満足度の向上を図るべく「明瞭な価格体系による葬儀費用の明確化」「徹底した人財教育によるサービスの向上」「ドミナント出店による利便性の向上」を戦略の基本方針とし、直営・フランチャイズ出店による徹底した差別化戦略を展開しております。また、当第２四半期累計期間におきましては、「新生ティア」をスローガンに掲げ、戦略の基本方針をブラッシュアップすべく、７つの戦略テーマを設け積極的に推進してまいりました。

葬儀会館の状況につきましては、愛知県岡崎市に「ティア岡崎中央」を直営店として開設したことに加え、フランチャイズ店を５店舗開設いたしました。これにより、直営店は30店舗、フランチャイズ店は26店舗となり、合わせて56店舗となりました。また、既存店におきましても、多様化する顧客ニーズに対応するために「ティア浄心」の改修工事を実施いたしました。

この結果、当第２四半期累計期間の葬儀施行件数は3,338件（前年同期比4.7％増）、売上高は43億49百万円（同6.4％増）となりました。経費面におきましては、前年同期と比べ売上原価率が3.1ポイント、販管費率が0.9ポイントそれぞれ低下いたしました。これにより、営業利益は６億22百万円（同47.6％増）、経常利益では５億87百万円（同52.5％増）、四半期純利益は３億31百万円（同69.4％増）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

(a) 葬祭事業

当第２四半期累計期間におきましては、「ティアの会」会員数の拡大を図るべく、各種会館イベントや提携団体・企業向けの営業等を積極的に取り組んでまいりました。また、堅調に推移する既存店に加え、当第２四半期累計期間及び前事業年度に開設した会館の稼働により、葬儀件数は順調に増加いたしました。また、葬儀単価におきましては、葬儀の受注に際し葬儀付帯品を提案する専門スタッフの増員等により、前年同期比1.9％増となりました。この結果、売上高は42億65百万円（同6.1％増）、営業利益は８億38百万円（同26.0％増）となりました。

(b) フランチャイズ事業

当第２四半期累計期間におけるフランチャイズ店は前年同期と比べ７店舗増加し、これによりロイヤリティ収入が順調に増加いたしました。また、当第２四半期累計期間に開設した５店舗（既存クライアント５店舗）の加盟金等が計上されたため、売上高は84百万円（同20.0％増）、営業利益は36百万円（同161.4％増）となりました。

（２）財政状態に関する定性的情報

（資産）

当第２四半期会計期間末における流動資産は17億68百万円となり、前事業年度末に比べ４億43百万円増加いたしました。これは主に現金及び預金が４億円増加したこと等によるものであります。固定資産は61億14百万円となり、前事業年度末に比べ１億40百万円増加いたしました。これは主に有形固定資産が１億55百万円増加したこと等によるものであります。

この結果、総資産は、78億82百万円となり、前事業年度末に比べ５億83百万円増加いたしました。

（負債）

当第２四半期会計期間末における流動負債は22億53百万円となり、前事業年度末に比べ２億45百万円増加いたしました。これは主に未払法人税等が93百万円、買掛金が91百万円増加したこと等によるものであります。固定負債は32億81百万円となり、前事業年度末に比べ75百万円増加いたしました。これは主に長期借入金が96百万円増加したこと等によるものであります。

この結果、負債合計は、55億34百万円となり、前事業年度末に比べ３億20百万円増加いたしました。

（純資産）

当第２四半期会計期間末における純資産合計は23億48百万円となり、前事業年度末に比べ２億62百万円増加いたしました。これは主に四半期純利益３億31百万円及び剰余金の配当68百万円があったこと等によるものであります。

（３）業績予想に関する定性的情報

平成23年11月11日に公表いたしました平成24年９月期の通期業績予想に対し、上期の業績および状況を踏まえたうえで、通期の出店計画を直営４店舗、ＦＣ８店舗の合計12店舗に修正いたしました。また、下期の人材採用におきまして採用人数の増加に伴う人件費等の増加を見込んでおります。これにより、平成24年５月１日に業績予想を修正いたしました。

２．サマリー情報（その他）に関する事項

（１）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（２）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

３．継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

４．四半期財務諸表

（１）四半期貸借対照表

（単位：千円）

	前事業年度 （平成23年９月30日）	当第２四半期会計期間 （平成24年３月31日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,001,189	1,401,355
売掛金	135,706	202,305
商品	11,703	12,812
その他	179,719	155,715
貸倒引当金	△3,521	△4,115
流動資産合計	1,324,797	1,768,074
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	2,870,065	2,972,673
土地	1,286,568	1,287,418
その他（純額）	489,200	541,308
有形固定資産合計	4,645,834	4,801,400
無形固定資産	193,302	172,878
投資その他の資産		
差入保証金	917,378	919,800
その他	217,603	220,418
投資その他の資産合計	1,134,982	1,140,218
固定資産合計	5,974,118	6,114,496
資産合計	7,298,916	7,882,571
負債の部		
流動負債		
買掛金	245,426	336,569
短期借入金	76,668	150,000
1年内返済予定の長期借入金	1,131,470	1,103,012
未払法人税等	163,040	256,400
賞与引当金	73,781	69,846
その他	317,167	337,321
流動負債合計	2,007,553	2,253,149
固定負債		
長期借入金	2,902,839	2,998,904
資産除去債務	135,961	137,156
その他	167,205	145,295
固定負債合計	3,206,005	3,281,356
負債合計	5,213,558	5,534,505

（単位：千円）

	前事業年度 （平成23年９月30日）	当第２四半期会計期間 （平成24年３月31日）
純資産の部		
株主資本		
資本金	580,750	580,750
資本剰余金	214,250	214,250
利益剰余金	1,290,430	1,553,202
自己株式	△75	△168
株主資本合計	2,085,354	2,348,034
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	2	31
評価・換算差額等合計	2	31
純資産合計	2,085,357	2,348,065
負債純資産合計	7,298,916	7,882,571

（２）四半期損益計算書
（第２四半期累計期間）

（単位：千円）

	前第２四半期累計期間 （自　平成22年10月１日 至　平成23年３月31日）	当第２四半期累計期間 （自　平成23年10月１日 至　平成24年３月31日）
売上高	4,089,420	4,349,793
売上原価	2,756,759	2,796,883
売上総利益	1,332,660	1,552,909
販売費及び一般管理費	910,845	930,491
営業利益	421,815	622,418
営業外収益		
受取利息	3,083	2,982
その他	6,855	5,004
営業外収益合計	9,938	7,986
営業外費用		
支払利息	43,709	41,139
その他	2,900	1,999
営業外費用合計	46,609	43,139
経常利益	385,144	587,265
特別利益		
貸倒引当金戻入額	739	－
賞与引当金戻入額	2,192	－
特別利益合計	2,932	－
特別損失		
固定資産除売却損	296	3,495
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	50,644	－
特別損失合計	50,941	3,495
税引前四半期純利益	337,134	583,770
法人税、住民税及び事業税	182,770	247,876
法人税等調整額	△41,072	4,782
法人税等合計	141,697	252,659
四半期純利益	195,437	331,110

（３）四半期キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前第２四半期累計期間 （自　平成22年10月１日 至　平成23年３月31日）	当第２四半期累計期間 （自　平成23年10月１日 至　平成24年３月31日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	337,134	583,770
減価償却費	170,595	154,865
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	50,644	－
賞与引当金の増減額（△は減少）	22,408	△3,935
役員賞与引当金の増減額（△は減少）	△10,580	－
受取利息及び受取配当金	△3,088	△2,987
支払利息	43,709	41,139
売上債権の増減額（△は増加）	△1,315	△66,599
たな卸資産の増減額（△は増加）	1,021	△73
貸倒引当金の増減額（△は減少）	△784	594
仕入債務の増減額（△は減少）	40,983	91,143
その他	△16,520	44,668
小計	634,208	842,584
利息及び配当金の受取額	48	36
利息の支払額	△43,653	△40,029
法人税等の支払額	△192,952	△155,676
営業活動によるキャッシュ・フロー	397,652	646,914
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△802,491	△283,129
無形固定資産の取得による支出	△4,207	△1,334
差入保証金の差入による支出	△64,830	△22,851
差入保証金の回収による収入	48,184	23,370
その他	△3,558	△13,962
投資活動によるキャッシュ・フロー	△826,904	△297,907
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	340,000	500,000
短期借入金の返済による支出	△283,332	△426,668
長期借入れによる収入	1,215,000	740,000
長期借入金の返済による支出	△745,748	△672,393
自己株式の取得による支出	△31	△92
リース債務の返済による支出	△17,424	△18,862
割賦債務の返済による支出	△2,604	△2,679
配当金の支払額	△67,779	△68,107
財務活動によるキャッシュ・フロー	438,080	51,197
現金及び現金同等物に係る換算差額	－	△38
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	8,828	400,165
現金及び現金同等物の期首残高	1,184,747	1,001,189
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,193,575	1,401,355

（４）継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

（５）セグメント情報等
Ⅰ　前第２四半期累計期間（自　平成22年10月１日　至　平成23年３月31日）
１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント			調整額（注）１	四半期損益計算書計上額（注）２
	葬祭事業	フランチャイズ事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	4,018,952	70,468	4,089,420	－	4,089,420
計	4,018,952	70,468	4,089,420	－	4,089,420
セグメント利益	665,165	14,022	679,188	△257,373	421,815

（注）１．セグメント利益の調整額△257,373千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
２．セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

Ⅱ　当第２四半期累計期間（自　平成23年10月１日　至　平成24年３月31日）
１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント			調整額（注）１	四半期損益計算書計上額（注）２
	葬祭事業	フランチャイズ事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	4,265,218	84,574	4,349,793	－	4,349,793
計	4,265,218	84,574	4,349,793	－	4,349,793
セグメント利益	838,141	36,655	874,797	△252,378	622,418

（注）１．セグメント利益の調整額△252,378千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
２．セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

（６）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

（７）重要な後発事象
該当事項はありません。